

(第1面)

産業廃棄物処理計画書

令和5年 6月23日

栃木県知事
福田 富一 様

提出者
住 所 愛知県半田市中村町二丁目6番地
氏 名 株式会社Mizkan
代表取締役 石垣 浩司
(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)
電話番号 0569-24-5168

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	株式会社Mizkan 栃木工場
事業場の所在地	栃木県栃木市大塚町2436
計画期間	令和5年4月1日～令和6年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	食料品製造業
② 事業の規模	122億円/年
③ 従業員数	186人
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙1の通り

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

別紙2の通り

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙3の通り	
	排出量	別紙3の通り	t
	(これまでに実施した取組) 別紙4-①の通り		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙3の通り	
	排出量	別紙3の通り	t
	(今後実施する予定の取組) 別紙4-①の通り		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 別紙4-①の通り
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 別紙4-①の通り

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
① 現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙3の通り	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	別紙3の通り	t
	(これまでに実施した取組) 別紙4-①の通り		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙3の通り	
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	別紙3の通り	t
	(今後実施する予定の取組) 別紙4-①の通り		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
① 現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙3の通り	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	別紙3の通り	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	別紙3の通り	t
	(これまでに実施した取組) 別紙4-②の通り		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙3の通り	
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	別紙3の通り	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	別紙3の通り	t
	(今後実施する予定の取組) 別紙4-②の通り		

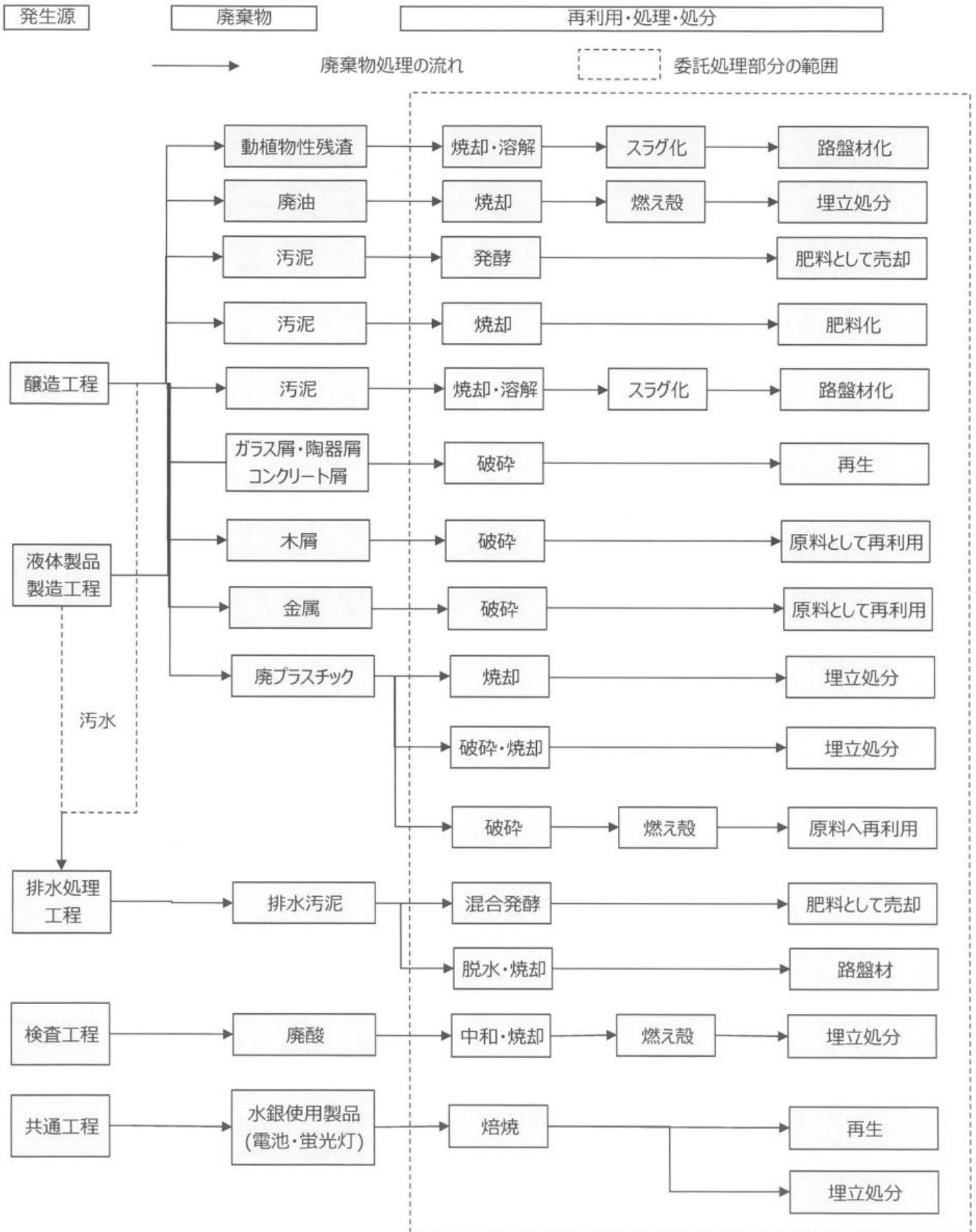
(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
① 現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙3の通り	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	別紙3の通り	t
	(これまでに実施した取組) 別紙4-②の通り		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙3の通り	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	別紙3の通り	t
	(今後実施する予定の取組) 別紙4-②の通り		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
① 現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙3の通り	
	全処理委託量	別紙3の通り	t
	優良認定処理業者への処理委託量	別紙3の通り	t
	再生利用業者への処理委託量	別紙3の通り	t
	認定熱回収業者への処理委託量	別紙3の通り	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	別紙3の通り	t
	(これまでに実施した取組) 別紙4-②の通り		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙3の通り	
	全処理委託量	別紙3の通り	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	別紙3の通り	t
	再生利用業者への 処理委託量	別紙3の通り	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	別紙3の通り	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	別紙3の通り	t
	(今後実施する予定の取組) 別紙4-②の通り		
※事務処理欄			

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1) ①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2) ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3) ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。



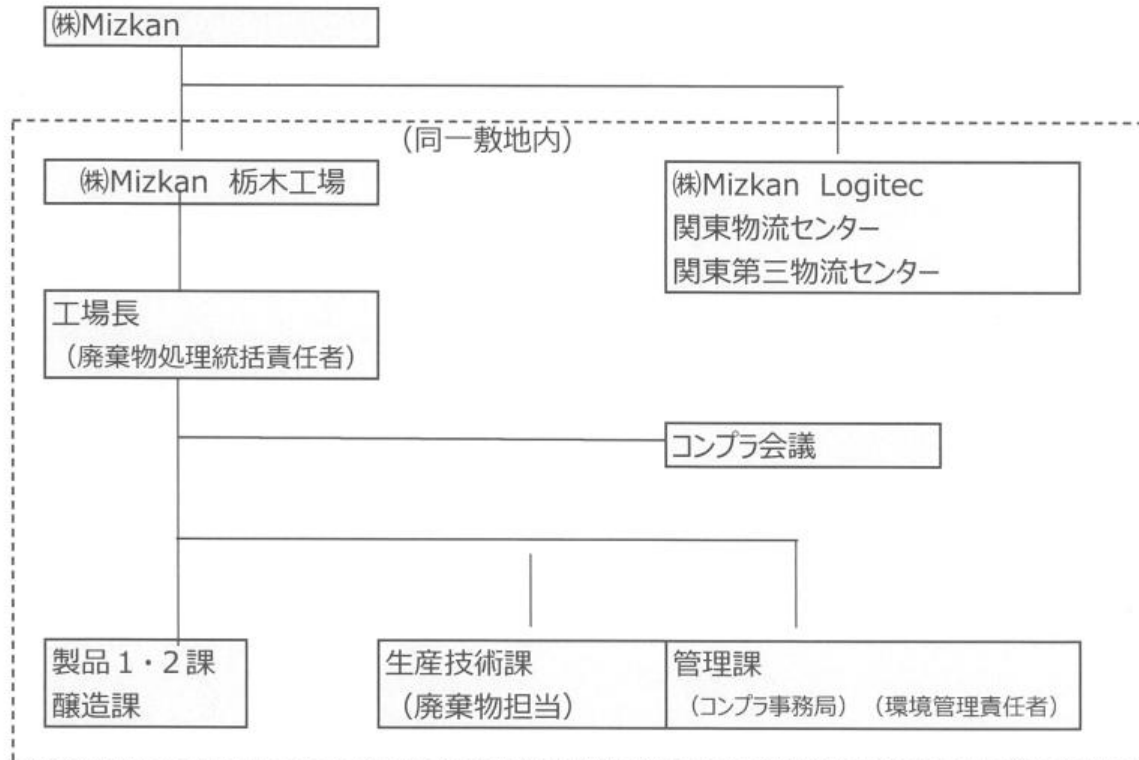
廃棄物処理フロー図 (現状)

別紙 2

＜産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項＞

役割一覧表

廃棄物処理統括責任者 (工場長)	廃棄物処理方針の策定 廃棄物処理に関する各種事項の決定・承認
廃棄物処理責任者 (管理課長)	廃棄物処理計画の作成 廃棄物管理状況の把握と改善策の検討 産業廃棄物管理票の管理 監督官庁への各種報告
廃棄物処理担当者 (生産技術課)	処理業者及び再生利用業者の調査・選定・管理 委託契約の締結 産業廃棄物管理票の交付 廃棄物発生量、再資源化率の集計
環境管理責任者 (管理課長)	環境内部監査の実施 従業員への教育、関連会社への通達
コンプラ事務局 (管理課)	コンプラ会議の開催
コンプラ会議	廃棄物発生の抑制、及び廃棄物再資源化についての検討 ＜議長＞ コンプラ事務局 ＜出席者＞ 工場長、環境管理責任者、管理課、生産技術課



別紙 3

2022年度（令和4年度）実績値及び2023年度（令和5年度）目標値

	廃酸		汚泥		金属		水銀使用製品産業廃棄物	
	実績〔t〕 (2022年度)	目標〔t〕 (2023年度)	実績〔t〕 (2022年度)	目標〔t〕 (2023年度)	実績〔t〕 (2022年度)	目標〔t〕 (2023年度)	実績〔t〕 (2022年度)	目標〔t〕 (2023年度)
排出量	2.04	2.00	955.93	955.00	0.00	0.00	0.20	0.20
自己再生利用量	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
自己熱回収量	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
自己中間処理減量化量	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
自己埋立処分又は海洋投入処分量	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
全処理委託量	2.04	2.00	955.93	955.00	0.00	0.00	0.20	0.20
優良認定処理業者への処理委託量	1.88	1.80	409.26	409.00	0.00	0.00	0.20	0.20
再生利用業者への処理委託量	0.16	0.10	820.22	820.00	0.00	0.00	0.20	0.20
認定熱回収業者への処理委託量	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00	0.00	135.71	135.00	0.00	0.00	0.00	0.00

	動植物性残渣		廃プラスチック		廃油		木屑	
	実績〔t〕 (2022年度)	目標〔t〕 (2023年度)	実績〔t〕 (2022年度)	目標〔t〕 (2023年度)	実績〔t〕 (2022年度)	目標〔t〕 (2023年度)	実績〔t〕 (2022年度)	目標〔t〕 (2023年度)
排出量	32.01	32.00	115.35	115.00	0.07	0.05	1.56	1.50
自己再生利用量	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
自己熱回収量	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
自己中間処理減量化量	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
自己埋立処分又は海洋投入処分量	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
全処理委託量	32.01	32.00	115.35	115.00	0.07	0.05	1.56	1.50
優良認定処理業者への処理委託量	10.40	10.00	114.12	114.00	0.07	0.05	1.56	1.50
再生利用業者への処理委託量	32.01	32.00	115.35	115.00	0.00	0.00	1.56	1.50
認定熱回収業者への処理委託量	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	10.40	10.00	78.72	78.00	0.05	0.05	0.00	0.00

別紙4 - ①

＜産業廃棄物の排出の抑制に関する事項＞

	これまでに実施した取組	今後実施する予定の取組
廃酸	-	-
汚泥	珪藻土の削減、濃厚液の自社処理化、排水汚泥の乾燥化	余剰汚泥の削減、濃厚液の自社処理化、排水汚泥の乾燥化、汚泥の肥料化
金属	-	-
水銀使用製品	-	-
産業廃棄物	-	-
動植物性残渣	だし粕を飼料として売却	だし粕を飼料として売却、製品廃棄の削減、テスト生産時の廃棄物削減
廃プラスチック	プレス機による有価物への転換	-
廃油	-	-
木屑	木製パレットの使用制限	木製パレットの使用制限
ガラス屑・陶器屑・コンクリート屑	-	-

＜産業廃棄物の分別に関する事項＞

	これまでに実施した取組	今後実施する予定の取組
廃酸	-	-
汚泥	-	-
金属	資源として再利用できる金属と分別実施	資源として再利用できる金属と分別実施
水銀使用製品	-	-
産業廃棄物	-	-
動植物性残渣	-	-
廃プラスチック	資源として再利用できるプラスチックと分別実施	資源として再利用できるプラスチックと分別実施
廃油	-	-
木屑	-	-
ガラス屑・陶器屑・コンクリート屑	-	-

＜自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項＞

	これまでに実施した取組	今後実施する予定の取組
廃酸	-	-
汚泥	-	-
金属	-	-
水銀使用製品	-	-
産業廃棄物	-	-
動植物性残渣	-	-
廃プラスチック	-	-
廃油	-	-
木屑	-	-
ガラス屑・陶器屑・コンクリート屑	-	-

別紙4-②

＜自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項＞

	これまでに実施した取組	今後実施する予定の取組
廃酸	-	-
汚泥	-	-
金属	-	-
水銀使用製品	-	-
産業廃棄物	-	-
動植物性残渣	-	-
廃プラスチック	-	-
廃油	-	-
木屑	-	-
ガラス屑・陶器屑・コンクリート屑	-	-

＜自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項＞

	これまでに実施した取組	今後実施する予定の取組
廃酸	-	-
汚泥	-	-
金属	-	-
水銀使用製品	-	-
産業廃棄物	-	-
動植物性残渣	-	-
廃プラスチック	-	-
廃油	-	-
木屑	-	-
ガラス屑・陶器屑・コンクリート屑	-	-

＜産業廃棄物の処理の委託に関する事項＞

	これまでに実施した取組	今後実施する予定の取組
廃酸	-	-
汚泥	脱水処理委託により減量化	脱水処理委託により減量化
金属	-	-
水銀使用製品	-	-
産業廃棄物	-	-
動植物性残渣	焼却処理委託により減量化	焼却処理委託により減量化
廃プラスチック	焼却処理委託により減量化	焼却処理委託により減量化
廃油	焼却処理委託により減量化	焼却処理委託により減量化
木屑	-	-
ガラス屑・陶器屑・コンクリート屑	-	-